奥州湖へいらっしゃい

No.143　令和8年1月



新春のお慶びを申し上げます。

胆沢ダムで管理支所長をしております小原と申します。
昨年4月に赴任し、もうすぐ1年が経過しますが、昨年、特に印象深かった出来事について振り返りをさせて頂きます。

まず始めに思いつくのは、胆沢ダム管理開始以来の最大の渇水です。
記録的な酷暑と少雨の影響により、普段見ることの出来ない奥州湖に沈んでいる石淵ダムは、過去最も早い7月下旬にその姿を現しました。そんな石淵ダムを多くの見学者が訪れる状況を嬉しく思う一方で、内心、一抹の不安を感じたことを記憶しております。
毎日のように全国各地のダムでは「最低水位」「貯水率0%」というワードがメディアを通して聞こえておりましたが、胆沢ダム流域でも夏場の降水量が記録的な少雨により貯水位の回復が見込めない状況にありました。
そのような中でも、利水者の皆様と協力しながら、かんがい用水については水稲の重要な時期と言われる出穂期まで補給し続けることが出来ましたし、上水道や河川維持用水においては、1日も絶やすことなく放流し続けることで、皆様の生活をお守りすることが出来たと思っております。

もう一つは、融雪水を活用したハイブリッドダムの取り組みです。
焼石連峰を水源地とする胆沢ダムは、その豊富な雪解け水を利用し、令和4年からハイブリッドダムの取り組みを実施して参りました。特に昨年は、奥州市・電源開発(株)・国交省の3者による水源地域振興に関する覚書を締結するという新たなフェーズを迎えることが出来ました。この覚書により、ハイブッドダムでの成果の一部を水源地域である奥州市へ活用することが可能となり、今後の奥州湖周辺の地域活性化へ大きく寄与するものと期待が膨らみます。

結びになりますが、今年の干支、午（うま）は、力強く前進する馬にちなみ、「前進」「躍動」「成功」「豊かさ」の象徴とされ、縁起の良い干支と云われております。胆沢ダムに関わる全ての皆様のご多幸をお祈りすると共に、胆沢ダム職員一同、皆様の安全と安心な暮らしをお守りし、また、ダムを活用した地域活性化にも尽力して参る所存です。
昨年に引き続き、どうぞ今年1年、宜しくお願い申し上げます。

北上川ダム統合管理事務所
胆沢ダム管理支所長　小原　竜光

日本ダムアワード2025
ダム大賞・低水管理賞をW受賞



12/27に開催された日本ダムアワード2025にて、胆沢ダムがダム大賞と低水管理賞をW受賞いたしました。関連機関の皆様や地域の皆様の協力と胆沢ダムの働きで昨年の渇水を乗り越えたことを、W受賞という形で評価していただいたものと考えています。胆沢ダムを応援してくださった全国のダムファンの皆様にも感謝申し上げます。この受賞を励みに今後もダム管理に努めて参ります。





【日本ダムアワードとは】
一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。委員と観客の皆さんによる投票で、各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントです。
（JAPAN DAM AWARD HPから引用）

JAPAN DAM AWARD HPはこちら ▶

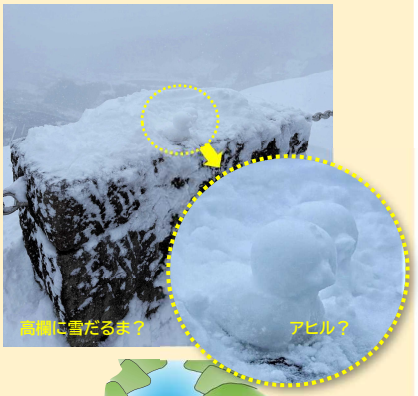
（JAPAN DAM AWARD　HPから引用）

1月の胆沢ダム

年明けからの積雪で胆沢ダムは雪景色です。寒波の襲来でさらに積雪は増えています。状況に応じて除雪作業を行っていますが、足下には十分ご注意ください。







油の流出事故に注意！

冬季は灯油を使用する機会が増え、一般家庭等のホームタンクから灯油などの油が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。油流出を発見したらすぐに、消防署・警察署・市町村または県の機関へ連絡をしてください。



〈R7年度〉初雪観測：R7年11月18日　積雪状況（R8年1月26日現在）：横岳 318cm ／ 胆沢ダム 67cm

今月の一枚　「奥州湖の石碑」



雪で「奥州湖」の文字が浮かびあがりました

編集後記　雪が積もり胆沢ダム展示室前広場には、動物の足跡が見られるようになりました。管理支所の裏山にはカモシカの姿もあり、自然豊かな胆沢ダムを実感しています！今年も“奥州湖へいらっしゃい”をよろしくお願いいたします。（流）



発行：北上川ダム統合管理事務所　胆沢（いさわ）ダム管理支所



〒023-0403　岩手県奥州市胆沢若柳字横岳前山6
TEL 0197-49-2981 ／ FAX 0197-49-2988
ホームページ ▶ http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/
公式Xページ ▶ @mlit_kitakato